



2025年9月16日

各位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ
(東証グロース・コード3070)
本社所在地 東京都台東区上野1丁目16番5号
代表者 代表取締役社長 宮崎 明
問合せ先 管理本部長 田上 昌義
電話番号 (03) 3871-0111 (代表)
(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

子会社のサステナブル事業協業に向けた業務提携に関する基本合意のお知らせ

当社の連結子会社である株式会社 JB サステナブル（本社：東京都台東区、代表取締役社長：宮崎 明、以下「JB サステナブル」）は、2025年9月16日開催の同社の取締役会にて、二次資源ホールディングス株式会社（本社：大阪府中央区瓦町、代表取締役社長：廣田 耕一、以下「二次資源ホールディングス」、HP：<https://srhd.jp>）と、サステナブル事業協業に向けた包括的業務提携契約に関する基本合意書を締結することを決議しましたので、お知らせします。

記

1. 業務提携締結の趣旨

当社は長年、ジェリービーンズブランドの婦人靴を店舗及び EC にて販売する中で、「サステナブルライン」としてエコフレンドリーな商品を生産・販売してきました。具体的には下記の取り組みを推進しております。

- ①環境に配慮してつくられた素材を使用
- ②余剰在庫の削減のため、需要予測に基づく生産
- ③カスタムオーダーシューズの販売による過剰生産からの脱却

二次資源ホールディングスは2022年の会社発足以来、環境サステナブル事業に積極的に取り組む企業であります。具体的には下記の取り組みを推進しております。

- ①発電事業
- ②再生燃料供給事業
- ③自家発電事業

この度、JB サステナブルと二次資源ホールディングスは、サステナブル事業の方針に強く共感し、二次資源ホールディングが行う蓄電池の企画販売、再生油の発電・リユース・リサイクル事業において、協業を進めることを前提とした業務提携を締結いたしました。

2. JB サステナブルの概要

(1) 名称	株式会社 JB サステナブル
(2) 所在地	東京都台東区上野1-16-5
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 宮崎 明
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物及び一般廃棄物の収集、運搬、処理並びに再生業務・業廃棄物及び一般廃棄物の中間処理場、最終処分場の運営、管理・環境、産業廃棄物、一般廃棄物のリサイクル事業に関するコンサルティング・産業廃棄物の積替及び保管・特別管理産業廃棄物及び特別管理一般廃棄物の収集運搬、並びに中間処理場、最終処分場の運営、管理他

(5)資本金	9百万円	
(6)設立年月日	2025年6月12日	
(7)大株主及び持株比率	株式会社ジェリービーンズグループ 100%	
(8)上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社100%出資の子会社となります。
	人的関係	当社取締役の宮崎明、立川光昭、林光が取締役に就任しております。また当社監査役の馬場が監査役に就任しております。
	取引関係	該当事項はございません。

3. 契約締結先企業の概要

(1)名称	二次資源ホールディングス株式会社																																						
(2)所在地	大阪府大阪市中央区瓦町4-3-7 VORT 御堂筋本町 503号																																						
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 廣田 耕一																																						
(4)事業内容	販売・リース事業・燃料輸送事業 油化事業【廃プラスチック・廃食用油】 不動産事業・小売電気事業・発電機開発事業 建設・O&M事業 企画コンサル事業・宣伝・広告制作事業																																						
(5)資本金	53百万円																																						
(6)設立年月日	2022年2月21日																																						
(7)大株主及び持株比率	廣田 耕一 6,034株 エンジェル投資株式会社 4,000株 株式会社あおやま 34株																																						
(8)上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はございません。																																					
	人的関係	該当事項はございません。																																					
	取引関係	該当事項はございません。																																					
(9)最近3年間の財政状態及び経営成績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算期</th> <th>2023年7月期</th> <th>2024年7月期</th> <th>2025年7月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>純資産(千円)</td> <td>147,770</td> <td>160,690</td> <td>△10,182</td> </tr> <tr> <td>1株あたり純資産(円)</td> <td></td> <td>15,960.48</td> <td>△1,011.35</td> </tr> <tr> <td>売上高(千円)</td> <td>869,453</td> <td>1,234,393</td> <td>978,403</td> </tr> <tr> <td>営業利益(千円)</td> <td>36,052</td> <td>△66,219</td> <td>308,611</td> </tr> <tr> <td>経常利益(千円)</td> <td>72,196</td> <td>△112,161</td> <td>31,683</td> </tr> <tr> <td>当期純利益(千円) (△は当期純損失)</td> <td>43,072</td> <td>12,920</td> <td>△170,872</td> </tr> <tr> <td>1株あたり当期純利益(円)</td> <td>4,278.19</td> <td>1,283.28</td> <td>△16,971.83</td> </tr> <tr> <td>1株あたり配当金(円)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			決算期	2023年7月期	2024年7月期	2025年7月期	純資産(千円)	147,770	160,690	△10,182	1株あたり純資産(円)		15,960.48	△1,011.35	売上高(千円)	869,453	1,234,393	978,403	営業利益(千円)	36,052	△66,219	308,611	経常利益(千円)	72,196	△112,161	31,683	当期純利益(千円) (△は当期純損失)	43,072	12,920	△170,872	1株あたり当期純利益(円)	4,278.19	1,283.28	△16,971.83	1株あたり配当金(円)	—	—	—
決算期	2023年7月期	2024年7月期	2025年7月期																																				
純資産(千円)	147,770	160,690	△10,182																																				
1株あたり純資産(円)		15,960.48	△1,011.35																																				
売上高(千円)	869,453	1,234,393	978,403																																				
営業利益(千円)	36,052	△66,219	308,611																																				
経常利益(千円)	72,196	△112,161	31,683																																				
当期純利益(千円) (△は当期純損失)	43,072	12,920	△170,872																																				
1株あたり当期純利益(円)	4,278.19	1,283.28	△16,971.83																																				
1株あたり配当金(円)	—	—	—																																				
(10)二次資源ホールディングスについて	<p>二次資源ホールディングスは、廃食用油や廃プラスチックといった「二次資源」を活用し、再生可能エネルギーを生み出す循環型のビジネスモデルを展開している企業です。</p> <p>主な事業として、廃油などを燃料とする発電所を自社で企画・運営し、電力を供給する発電事業を展開しています。</p> <p>また、企業や施設向けに非常時の電源確保やBCP対策として再生燃料を活用した自家発電設備を導入し、安定した電力供給と環境配慮の両立を支援しています。</p> <p>さらに、燃料輸送や発電機の整備・販売、電力の小売、不動産活用といった周辺事業も行い、エネルギーの循環を支える仕組みを包括的に提供しています。</p> <p>このように、二次資源ホールディングスは廃棄物の有効活用とエネルギーの地産地消を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しています。</p>																																						

4. 具体的な協業内容について

再生重油発電機の企画・販売や運営、OEM 製造、系統連携蓄電池の販売、バイオマス発電所の運営管理、再生油製油所の運営といった複数の業務分野において包括的な提携関係を構築し、共同で業務を遂行していきます。

5. 今後の見通し

JB サステナブルと二次資源ホールディングスは、サステナブルな事業の取り組みを共同で推進してまいります。

本件により今後当社の連結業績に重要な影響を与える見込が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以上